



4月号

園長だより

H28. 4. 11
新渡戸文化子ども園

「だっこ」と「おんぶ」

ご入園、ご進級おめでとうございます。さくらが咲く美しい季節のご入園、ご進級に、保護者の皆様もお喜びの事と思います。「親心で丁寧」心を含めた保育を目指してまいります。どうぞ一年間、ご協力の程よろしく願いいたします。

小さなゴミを、少し離れたゴミ箱へ投げ入れようとして、ゴミがゴミ箱へ入らない時もあります。すると、もう一度立ち上がりゴミ箱の近くまで行って落ちたゴミを拾い入れ直していますね。ゴミを捨てるなど、小さなことです。しかし、仕事とはそんな小さな作業の積み重ねだなどつくづく感じます。その一つでも手間を惜しんで、横着をしてしまうと、他の小さな手間を増やすことになるのです。どんな小さなことでも、手間を惜しまず横着せずに、丁寧な気持で、本来行動すべきことをしたほうが、結局早くことが進む場合が多いのです。子育てもまったく同じだと実感しています。

この一年、子どもたちに決してささいな手間を惜しまないようにしていきたいと思います。

おとうさんにとりまして、手間を惜しまない？何をすればいいのでしょうか？と思われる時もあるかと思えます。明確な目的がなく、でも子どものためになにかしなきゃ、でも時間がない。。。。。。そんな時の子育ての手間は。。。。。。

「だっこ」と「おんぶ」です。

3年前、帰路を歩いている時、あるおとうさんが年少組の男の子を抱っこしてお家に向かっていました。ご挨拶をした時に、抱っこをしていることを悪いと思ったのでしょうか。「ちゃんと歩きなさい。」と、話しかけていました。「大丈夫ですよ。お父様の抱っこはいいですね。」とお話をしながら、ゆっくりと一緒に歩いていたことがまるで昨日のここのようです。先日卒園をしたその子は、身長も大きくなり、おとうさんの抱っこの栄養がしっかりといきわたっているのだと思いました。

前にだっこなのか、後ろにおんぶなのか、意見は分かれるかもしれませんが、どちらにしても、いくつになっても子どもたちはおんぶが大好きです。男性保育士の背中に飛びついていく姿を見ると、とても微笑ましいものがあります。おとうさんのおんぶも、栄養満点なのではないでしょうか？

おかあさんはどうでしょう？園の中のおかあさん同士は、子供がいるということ以外、年齢も環境も価値観も異なりますね。自分の周りを見て焦り、迷い、子育ての孤独に悩んでしまうこともあるのではないのでしょうか。子どもを思うあまり、自分を責めたり見失ってしまうこともあるでしょう。

それは、みんな同じです。

そんな時には、出産をし授乳をしていた頃の思いを思い出し、愛情を含めて子育ての手間。。。。。

「だっこ」と「おんぶ」

をしてあげてください。（体力に自信がない方はハグも良いですね）

親心で丁寧な手間をしっかりとかけ、より良い教育をしてまいりたいと心新たに新年のスタートでございます。

